

I G Rいわて銀河鉄道株式会社への支援について

令和5年2月9日
建設部

1 概要

I G Rにおいては、沿線人口の減少に加え、コロナ禍や電力費高騰の影響が続き、令和5年度以降、毎年度約2.2億から4億円の赤字が続き、資金不足となることも想定されている。

このような状況の中、県及び沿線市町（盛岡市、二戸市、滝沢市、岩手町及び一戸町）は、地域の重要な交通手段であるI G Rの安全・安定運行の確保を図るため、I G Rに対する継続的な経営支援を行うこととしたもの。

2 経営支援策について

令和5年度以降の経営支援については、以下の3項目の支援策を行うものとする。

(1) 設備維持への支援

① 支援手法

設備維持に係る経費のうち一部経費を支援

② 支援対象経費

施設維持に係る経費のうち、線路保存費、電路保存費、輸送管理費（指令）、減価償却費

③ 支援額

支援額については、当面、令和5年度から9年度の5年間で想定し、各年度3億円を上限に支援を行うものであり、令和10年度以降の支援については令和9年度までに検討することとする。

また、支援額の平準化を図るため、県と沿線市町はいわて銀河鉄道経営安定化基金（以下「基金」という。）に支援額の上限（3億円）を積み立てることとし、その負担割合はI G Rへの出資割合等（盛岡市：17.925%）によるものとする。

④ 盛岡市の負担額

単位：千円

年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
全体額	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
市負担額	53,775	53,775	53,775	53,775	53,775

(2) 車両更新への支援

① 経緯

車両3編成の更新を令和9年度、更新費用を13.5億円と見込み、県・沿線市町は平成27年度から毎年度計1億円ずつを基金に積み立ててきた（令和4年度末積立額：8億円）が、I G Rでは、車両更新時期を5年程度延伸する見通しとなった。

② 支援額

車両更新時期の5年程度延伸に伴い、令和5年度からの支援額は5,000万円／年度とする。

なお、車両更新の状況を踏まえ、令和10年度以降の支援については令和9年度までに検討することとする。

③ 盛岡市の負担額

単位：千円

年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
全体額	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
市負担額	8,963	8,963	8,963	8,963	8,963

※盛岡市の負担割合は 17.925%

(3) 利用促進事業による支援

① 対応の方向性

これまでも利用促進協議会による利用促進事業を行ってきたところであり、今後においても、当面の間、利用促進事業を継続するものである。

② 令和5年度の対応

事業内容は県、沿線市町、I G Rで調整することとし、支援額は10,000千円とする。

③ 盛岡市の負担額

I G Rへの出資割合等(17.925%)による算定により、1,792千円とする。